

## ポーランド語の接頭辞

渡辺克義

WATANABE Katsuyoshi

はじめに

ポーランド語は造語力にすぐれ、接頭辞 (przedrostek; prefiks) および接尾辞 (przyrostek; sufiks) で多くの語彙を派生する。外国語教育法の観点からは、接辞を覚えておけば自動的に語彙が量産できるわけではないが、語彙の記憶に当たってはおおいに力を発揮することが明らかである。本稿では接頭辞の分析を行うが、そもそも複合語の第一成分 (pierwsza człon wyrazu złożonego) との区別がつきにくいものがある。ここではその両方の要素を取りあげるが、医学用語など専門性が高いものまでは網羅していないことを予めお断りしておく。また、本稿作成にあたっては、Jadacka (1999) に依拠するところが大きいことを記しておく。

接頭辞 (複合語第一成分を含む) 一覧

- a-** 外来系の形容詞・名詞に付き、欠如・反対・否定などを表す (例: apolityczny 政治的無関心の < polityczny 政治の, ateizm 無神論 < teizm 有神論)。
- aero-** 空気・航空の意 (例: aerodynamika 空気 [航空] 力学 < dynamika 力学)。
- agro-** 農業の意 (例: agrobiologia 農業生物学 < biologia 生物学)。
- alo-** 「他の」・「異なった」の意 (例: alonim [他者の名を用いた] 偽名)。
- an-** a- の異形態 (例: anosmia 無嗅覚症)。
- antropo-** 人・人類の意 (例: antropologia 人類学)。
- anty-** 外来系の形容詞・名詞に付き、反対・逆の意を表す (例: antynuklearny 反核の < nuklearny 核の)。
- arcy-** 名詞に付き上位・首位を、形容詞・副詞に付いて「極度の」の意を表す (例: arcybiskup 大司教 < biskup 司教, arcyzabawny 至極愉快的な < zabawny 愉快的な)。
- astro-** 天体・星の意 (例: astronomia 天文学)。
- auto-** 外来語において、自分・自動の意を表す (例: autobiografia 自叙伝 < biografia 伝記, automatyka オートメーション)。ポーランド語本来の語彙に対しては、samo- で同等のニュアンスが出る (例: samostanowienie (民族) 自決)。auto- はまた、自動車の意にもなる (例: automechanik 自動車修理工)。
- bez-** 欠如・欠乏の意 (例: bezbarwny 無色の < barwny カラフルな)。beze- となる場合もある (例: bezecny 卑劣な < cny 高潔な)。
- beze-** bez- を参照。
- bi-** 2倍・2重・2回の意を表し、主に外来語の名詞・形容詞に現れる (例: bilingwizm バイリンガリズム)。ポーランド語本来の語彙では、dwu- が bi- に相当する (例: dwujęzyczny バイリンガルの)。
- biało-** 「白 (い)」の意 (例: białoszary 白みがかかった灰色の)。意味的に第一成分と第二成分が同等の場合は、ハイフン (łącznik) 付きで記す (例: biało-szary 白くもあり灰色でもある)。このことは一般に、形容詞由来の複合語第一成分について当てはまる。
- blado-** 「青白い」「淡い」の意 (例: bladoróżowy 淡いピンクの)。
- blekitno-** 「青 (い)」の意 (例: błękitnoszary 青みがかかった灰色の)。
- brązowo-** 「こげ茶色 (の)」の意 (例: brązowowłosy 栗色の髪の毛の)。

- brudno-** ①「褐色の (brunaty)」の意 (例: brudnobiały 褐色がかった白の), ②「汚い (brudny)」の意 (例: brudnopis 下書き).
- buro-** 「暗褐色 (の)」の意 (例: burobrazowy 暗褐色に近い茶色の).
- cało-** 「全…」の意 (例: całodzienny 終日の, całokształt 総和).
- centy-** 「100分の1」の意 (例: centymetr センチメートル).
- ciemno-** 「(色が)濃い, 黒ずんだ」の意 (例: ciemnooki 黒い目の, ciemnoskóry 肌の浅黒い).
- ciężko-** 「重い」「困難な」の意 (例: ciężkostrawny 消化の悪い).
- cyto-** 細胞の意 (例: cytogenetyka 細胞遺伝学).
- czarno-** 「黒 (い)」の意 (例: czarnowłosy 髪の毛の黒い).
- czerwono-** 「赤 (い)」の意 (例: czerwoniębieski 赤みがかった青の).
- czterdziesto-** 40の意 (例: czterdziestolecie 40年).
- czternasto-** 14の意 (例: czternastodniowy 14日の).
- cztero-** 4の意 (例: czterowersz 4行詩).
- czwarto-** 「第4の」の意 (例: czwartorzędny 4列目の).
- czworo-** 4の意 (例: czworokątny 四角形の).
- daleko-** 「遠い」の意 (例: dalekobieżny 遠距離の, dalekowiedz 遠視の人).
- de-** ① 外来語で, 否定・逆・反対・分離・欠如・除去の意 (例: dehumanizacja 非人間化, deklasacja 地位剥奪), ② 「…出の」の意 (例: dewerbalny 動詞派生の). ポーランド語本来の語彙では, od-, roz- が対応.
- decy-** 「10分の1」の意 (例: decylitr デシリットル).
- deka-** 10の意 (例: dekagram デカグラム).
- dez-** de-を参照. 母音で始まる語の前で用いられる (例: dezaprowacja 不承知・不賛成).
- dia-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「通って」「横切って」の意 (例: diapazon 声域・音域).
- długo-** 「長い」の意 (例: długoterminowy 長期間の).
- do-** 動詞由来動詞で, ① 行為の完了・完成 (例: dopić 飲みつくす < pić 飲む), ② 追加・補足 (例: dokupić 買い足す < kupić 買う, doliczyć 加算する < liczyć 数える), ③ 目的・目標の達成 (例: dobiec 走り着く < biec 走る, dożyć 生きながらえる < żyć 生きる), ④ 調和 (例: dopasować 適合させる < pasować 合う)を表す. do- が付いた形容詞もある (例: docelowy 目的の, domięśniowy 筋肉内 (へ) の).
- drobno-** 「小さい」の意 (例: drobnomieszczanin 小市民, drobnoustrój 微生物).
- dwu-** bi-を参照.
- dwudziesto-** 20の意 (例: dwudziestodniowy 20日の).
- dwunasto-** 12の意 (例: dwunastodniowy 12日の).
- dys-** ① 外来語に見られ, 逆・反対・分離を表す (例: dyslokacja 部隊配置), ② 否定・欠如 (例: dysproporcja 不均衡 < proporcja 均衡).
- dziesięcio-** 10の意 (例: dziesięcioletni 10年の).
- dziewięcio-** 9の意 (例: dziewięcioletni 9年の).
- e-** 本来, elektroniczny「電子の」のことであるが, 現在では事実上「インターネットの」の意で用いられている (例: e-podpis 電子署名, e-mail 電子メール). e- はハイフン付きで書かれる. e- の発音は, その後の要素がポーランド語の場合は /e/ (例: e-podpis /epotpis/) と, 外国語のままの場合は /i/ (例: e-mail /imejl/) と発音される.
- egzo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「外 (の)」の意 (例: egzotyka 異国情緒).
- eko-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 生態 (学)・環境の意 (例: ekosfera 生態圏).
- eks-** ラテン語起源の接頭辞で, ①「以前の, 前の」の意 (例: eksprezydent 前大統領, 元大統領), ②「外に, 外へ」の意 (例: eksterytorialność 治外法権).
- ekstra-** ラテン語起源の接頭辞で, ①「超…」の意 (例: ekstranowoczesny 超近代的な), ②「最も…」の意 (例:

- ekstraklasa 最高級), ③「外で, 外へ」の意 (例: ekstragalaktyczny 銀河系外の).
- elektro-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 電気・電子の意 (例: elektrotechnik 電気技師, elektroniczny 電子の).
- endo-** ギリシャ語起源の接頭辞で「内部 (の)」の意 (例: endoskop 内視鏡).
- euro-** 複合名詞・複合形容詞の第一成分となり, 「ヨーロッパ (の)」の意を表す (例: eurocentryzm ヨーロッパ中心主義).
- ferro-** ラテン語起源の接頭辞で, 「鉄 (の)」の意 (例: ferromangan マンガン鉄).
- fito-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「植物 (の)」の意 (例: fitohormon 植物ホルモン).
- fizjo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「自然 (の)」「肉体 (の)」の意 (例: fizjologia 生理学, fizjopatologia 生理病理学).
- foto-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「光 (の)」「写真 (の)」の意 (例: fotosynteza 光合成, fotokopia 複製写真).
- geo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「地球 (の)」「土地 (の)」「地理 (の)」の意 (例: geofizyka 地球物理学, geodezja 測地学, geografia 地理学)
- gorzko-** 「苦い」の意 (例: gorzkostony 苦くて塩辛い).
- granatowo-** 「紺色 (の)」の意 (例: granatowoszary 紺に近い灰色の).
- helio-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「太陽 (の)」の意 (例: heliotropizm 向日性).
- hetero-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「異なった」の意 (例: heteroseksualny 異性の).
- higro-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「湿った」の意 (例: higroskop 湿度器).
- hiper-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「超…」の意 (例: hiperinflacja ハイパーインフレ).
- hipo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「下 (の)」「過少 (の)」の意 (例: hipoglikemia 低血糖症).
- homo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「同一 (の)」の意 (例: homoseksualizm ホモセクシュアリズム)
- hydro-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「水 (の)」の意 (例: hydroelektrownia 水力発電所).
- indo-** 「インド (の)」の意 (例: indoeuropejski 印欧の).
- inno-** 「他の」の意 (例: innojęzyczny 他言語の).
- ir-** ラテン語起源の接頭辞で, 否定の意 (例: irracjonalny 不合理な < racjonalny 合理的な).
- izo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「同一の」「類似の」の意 (例: izotopy アイソトープ).
- japońsko-** 「日本 (の)」の意 (例: japońsko-polski 日本=ポーランドの).
- jaskrawo-** 「鮮やかな」の意 (例: jaskrawoczerwony 鮮やかな赤の).
- jasno-** 「明るい」の意 (例: jasnoczerwony 明るい赤の).
- jedenasto-** 11の意 (例: jedenastodniowy 11日の).
- jedno-** 「単一の」の意 (例: jednolity 一枚岩の).
- kilko-** kilku- を参照.
- kilku-** 「いくつかの」の意 (例: kilkugodzinny 数時間の).
- kilkudziesięcio-** 「数十 (の)」の意 (例: kilkudziesięciogodzinny 数十時間の).
- kilkunasto-** 「十いくつかの」の意 (例: kilkunastogodzinny 十数時間の).
- kilo-** 1000の意 (例: kilogram キログラム).
- ko-** ラテン語起源の接頭辞で, 「共通 (の)」の意 (例: koedukacja 男女共学).
- kontr-** ラテン語起源の接頭辞で, 対立・反対・逆の意 (例: kontrrewolucja 反革命).
- kontra-** ラテン語起源の接頭辞で, 対立・反対・逆の意 (例: kontrafagot コントラファゴット) [子音で始まる語にしばしば付く].
- kosmo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 宇宙・世界の意 (例: kosmonauta 宇宙飛行士, kosmopolita コスモポリタン).
- krio-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 冷凍・氷結の意 (例: kriochirurgia 冷凍外科).
- lekko-** 「軽い」の意 (例: lekkomyślny 軽薄な).
- lewo-** 「左 (の)」の意 (例: lewobrzeżny 左岸の).

- łatwo-** 「容易な」の意 (例: łatwierny 信じやすい).
- makro-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「大きい」「異常な」の意 (例: makroekonomia マクロ経済学).
- mało-** 「少ない」の意 (例: małoduszny 気の弱い).
- mega-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「巨大な」「100万(倍)の」の意 (例: megabajt メガバイト).
- między-** 「…の間」の意 (例: międzymiastowy 都市間の).
- mikro-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「極小の」「100万分の1の」「小さい」の意 (例: mikroekonomia ミクロ経済学, mikrobus マイクロバス).
- mili-** ラテン語起源の接頭辞で、「1000分の1」の意 (例: milimetr ミリメートル).
- mini-** ラテン語起源の接頭辞で、「小さい」「短い」の意 (例: minispódniczka ミニスカート).
- mono-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「単一(の)」の意 (例: monolog 独白).
- multi-** ラテン語起源の接頭辞で、「多い」の意 (例: multimedia マルチメディア).
- na-** ① 動詞由来動詞で、完了・過度・集中などのニュアンスを付加 (例: nakraść 大量に盗む, nagadać się 長々しゃべる, napracować się 嫌気がさすまで働く), ② 形容詞由来動詞・名詞由来動詞として、基の語との関係を示す (例: nawodnić 灌漑する < woda 水, naświetlać 照らす < światło 光) [na-ić, na-ać という形をとる].
- nad-** ① 動詞由来動詞で、a) 少量であること (例: nadpić 少し飲む < pić 飲む), b) 接近 (例: nadbiec 駆けつける < biec 走る) を表す, ② 名詞由来名詞で、上位・過度を表す (例: nadciśnienie 高血圧 < ciśnienie 血圧).
- nade-** 子音が連続する場合、nad- の異形態として現れる (例: nadesłać 送り届ける < słać 送る).
- naj-** 形容詞・副詞の最上級を導く (例: najwyższy 最も高い < wyższy より高い < wysoki 高い).
- neo-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「新しい」の意 (例: neonazizm ネオナチ).
- neuro-** ギリシャ語起源の接頭辞で、神経の意 (例: neurologia 神経学).
- niby-** 「偽の」「疑似の」「仮の」などの意 (例: niby-naukowiec えせ研究者, niby-polski ポーランドに似せた) [ハイフン付きで綴る]. pseudo- を参照.
- nie-** 否定・反対の意 (例: niełatwy 容易でない, 難しい). 一般にハイフンなしで綴るが、大文字で書き始める名詞と結びつく時のみ、ハイフンが必要となる (例: nie-Arab 非アラブ人).
- nisko-** 「低い」の意 (例: niskopienny 低木の).
- nitro-** ギリシャ語起源の接頭辞で、窒素の意 (例: nitrogliceryna ニトログリセリン).
- nowo-** 「新しい」の意 (例: nowoczesny 最新の).
- o- / ob-** ① 動詞由来動詞で、包囲の意を付加 (例: okleić (糊で) 取り囲む < kleić 糊付けする), ② 形容詞由来動詞・名詞由来動詞で、状態の変化 (例: ocieplić 温める < ciepły 暖かい, ocienić 陰にする < cień 陰・影), ③ 名詞または形容詞で、接近・接触 (例: otrzewna 腹膜 < trzewia 内臓) を表す. ob- は一般に母音の前に現れるが (例: obostrzyć きつくする), 子音の前でも頻繁に現れる (例: obniżyć 低める, obsadzić 周囲に植える, obchodzić 迂回する) [とくに, m, n, r, l, ł の前で顕著]. o- と ob- で違いがある場合もある (例: omawiać 論じる, obmawiać 悪口を言う).
- obco-** 「他所(の)」の意 (例: obcokrajowiec 外国人).
- obe-** o- / ob- と同義で、子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: oberwać ひきちぎる < rwać ちぎる).
- od-** ① 動詞由来動詞で、a) 反対・逆 (例: odkryć 発見する < kryć 隠す), b) 離脱 (例: odbiec 走り去る < biec 走る), c) 返事・応答など (例: odpisać 返事を出す < pisać (便りを) 書く), d) 強意 (例: odratować 救命行為をする < ratować 救う), e) 再開 (例: odbudować 再建する < budować 建てる), f) 模倣 (例: odryśować 模写する < rysować 描く), ② 名詞由来動詞・形容詞由来動詞で、a) 減少・消滅 (例: odrealnić 非現実化する < realny 現実の), b) 達成 (例: odmłodzić 若返らせる < młody 若い), c) 減少・離脱 (例: odśnieżyć 除雪する < śnieg 雪), ③ 形容詞・副詞・名詞に前置詞 od の持つニュアンスを付加 (例:

- odczasownikowy 動詞由来の).
- ode-** od- と同義で, 子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: odesłać 送り返す).
- ognisto-** 「火のついた」「灼熱の」の意 (例: ognistoczerwony 炎色の).
- ogólno-** 「すべての」「一般の」の意 (例: ogólnoeuropejski 全欧の, ogólnojęzykoznawczy 一般言語学の).
- około-** 「…のまわりの」の意 (例: okołobiegunowy 極圏の).
- osiemdziesięcio-** 80 の意 (例: osiemdziesięciokilogramowy 80 キログラムの).
- osiemnasto-** 18 の意 (例: osiemnastokilogramowy 18 キログラムの).
- ostro-** 「鋭い」の意 (例: ostrokał 鋭角).
- ośmio-** 8 の意 (例: ośmiokilogramowy 8 キログラムの).
- paleo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「原始の」「有史以前の」の意 (例: paleolit 旧石器).
- pan-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「全…」「汎…」の意 (例: panslawizm 汎スラヴ主義).
- para-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「偽の」「疑似の」の意 (例: parapsychologia 疑似心理学 < psychologia 心理学).
- paro-** 「いくつかの」の意 (例: parodniowy 数日の).
- pełno-** 「満ちた」の意 (例: pełnoletność 成年).
- pierwo-** 「最初 (の)」の意 (例: pierwowzór 原型).
- pięcio-** 5 の意 (例: pięciolinia 五線).
- pięćdziesięcio-** 50 の意 (例: pięćdziesięciodniowy 50 日の).
- piętnasto-** 15 の意 (例: piętnastodniowy 15 日の).
- płasko-** 「平らな」の意 (例: płaskostopie 偏平足).
- po-** ① 動詞由来動詞 (一般に完了体) で, a) 連続 (例: pogubić 次々に失くす < gubić 失くす), b) 一度だけの行為 (例: podarować (一度だけ) 贈る < darować (幾度か) 贈る), c) 一定時間の継続 (例: poboleć (一定期間) 心配する < boleć 悲しむ), d) 開始 (例: pobiec 走り出す < biec 走る), e) わずかな動作・行動 (例: pobolewać (時々) 痛む < bolewać 痛む), ② 名詞・形容詞・副詞・数詞・前置詞などとも結びつくが, 前置詞 po のニュアンスを持っているものが多い (例: pogranicze 国境地帯, pochmurny 曇った, powyżej 上に, potwórny 2 度目の, poprzez (…を) 経て, potem それから).
- pod-** ① 動詞由来動詞で, a) 下部への運動 (例: podkreślić 下線を引く < kreślić 描写する), b) 上方への移動 (例: podlecieć 舞い上がる < lecieć 飛ぶ), c) (空間的) 接近 (例: podchodzić 近づく < chodzić 歩く), d) 目標の部分的達成 (例: podmalować 軽く塗る < malować 塗る), e) 秘めた (一般に望ましくない) 行為 (例: podpatrzeć のぞき見る < patrzeć 見る), ② 名詞由来名詞で, 下位の意 (例: podoficer 下士官 < oficer 将校).
- pode-** pod- と同義で, 子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: podesłać こっそり送る < słać 送る).
- poli-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「多くの」「複数の」の意 (例: poligamista 一夫多妻主義者).
- polsko-** 「ポーランド (の)」の意 (例: polsko-japoński ポーランド=日本の).
- południowo-** 「南 (の)」の意 (例: południowo-wschodni 南東の).
- ponad-** 「…以上」の意 (例: ponadklasowy 階級を超えた).
- post-** ラテン語起源の接頭辞で, 「…後の」の意 (例: postindustrialny 産業化以後の < industrialny 産業化の).
- poza-** 「…の外に」の意 (例: pozaszkolny 課外の).
- pół-** 「半…」「不十分な」の意 (例: półkolonia 半植民地 < kolonia 植民地). 一般にハイフンなしで綴るが, 大文字で書き始める名詞と結びつく時のみ, ハイフンが必要となる (例: pół-Arab 片親がアラブ人の人).
- połnocno-** 「北 (の)」の意 (例: północno-wschodni 北東の).
- pra-** 「原初の」「祖…」「曾…」の意 (例: pradziad 曾祖父 < dziad 祖父).
- prawo-** ①「右 (の)」の意 (例: prawobrzeżny 左岸の), ②「法 (の)」の意 (例: prawomocny 法的効力を持つ).

- pre-** ラテン語起源の接頭辞で、「…前の」の意（例：prehistoryczny 有史以前の < historyczny 歴史の）。
- pro-** ラテン語起源の接頭辞で、①「…に賛成の」「親…」の意（例：projapoński 親日の < japoński 日本の）、②「副…」の意（例：prorektor 副学長 < rektor 学長）、③「前の」の意（例：profaza 前段階 < faza 段階）。
- prosto-** 「まっすぐな」の意（例：prostoduszny 純真な）。
- proto-** ギリシャ語起源の接頭辞で、「原始の」「最初の」の意（例：prototyp 原型 < typ 型）。
- prze-** ① 動詞由来動詞として、a) 空間的移動（例：przebiec 走り抜ける < bieć 走る）、b) 浸透（例：przesączyć 濾過する < śczyć しみだす）、c) 所在地の変更（例：przemieścić 移す < mieścić 収容できる）、d) 分割（例：przedzielić 仕切る < dzielić 分ける）、e) 傾斜（の強意）（例：przechylić 傾ける < chylić 傾ける）、f) 全体の一部とする（例：przepleść 編み込む < pleść 編む）、g) 失敗・ミス（例：przeoczyć 見逃す）、h) 行為・行動の達成（przestraszyć 驚かす < straszyć 驚かす）〔意味的に完了体になることが普通〕、i) 停止（例：przebrzmieć 鳴り止む < brzmieć 鳴る）、j) 変形（例：przefarbować 色を塗り変える < farbować 染色する）、k) 過度（例：przegrzać 加熱する < grzać 暖・温める）、l) 無駄・浪費（例：przejeść もっぱら食べ物に金を使う < jeść 食べる）、m) 先見（例：przewidzieć 予見する < widzieć 見る）、② 形容詞に付き、強意を表す（例：przebogaty 極めて裕福な < bogaty 裕福な）、③〔典礼で〕最上級に付き、強調を表す（例：przenajświętszy 最も聖なる < święty 聖なる）。
- przeciw-** ポーランド語（スラヴ語）本来の形容詞・名詞に付き、anty- と同じ意味を表す（例：przeciwdziałać 対抗する < działać 活動する）。
- przed- / przede-** ① 動詞由来動詞を導き、一般に強意を表す（例：przedstawić 見せる < stawiać 置く）、② 名詞由来名詞・形容詞由来形容詞で、「…の前の」の意を加味する（例：przedmowa 序文 < mowa 話、przedostatni 最後から2番目の < ostatni 最後の）、③ その他（例：w przededniu 前日に）。
- przede-** przed- を参照。
- przenaj-** 一部形容詞・副詞で最上級を導く（例：przenajświętszy 最も聖なる）。prze-③ を参照。
- przeszło-** 「過ぎ去った」の意（例：przeszłoroczny 前年の）。
- przy-** ① 動詞由来動詞で、a) 引き寄せ（例：przyciągnąć 引き寄せる < ciągnąć 引く）、b) 補強・強化（例：przyśrubować ネジでしっかり留める < śrubować ネジで留める）、c) 不完全な行為完了（例：przypiec 表面を焼く < piec 焼く）、d) 随伴（例：przyśpiewać あとについて歌う < śpiewać 歌う）、e) 不意・驚愕（例：przychwycić 不意に捕える < chwycić 捕える）、② 形容詞に付き、特徴の弱化を示す（例：przydługi いくらか長い < długi 長い）。
- pseudo-** ギリシャ語由来の接頭辞で、「偽の」「疑似の」「仮の」などの意（例：pseudonim ペンネーム）。niby- を参照。
- psycho-** ギリシャ語由来の接頭辞で、「精神（の）」の意（例：psychoterapia 精神療法 < terapia 治療）。
- radio-** ラテン語由来の接頭辞で、「X線・放射性・放射能（の）」「無線・ラジオ（の）」の意（例：radiochemia 放射化学 < chemia 化学、radiostacja 放送局 < stacja 駅・局）。
- rdzawo-** 「錆色（の）、赤褐色（の）」の意（例：rdzawoczerwony 錆色に近い赤の）。
- re-** ラテン語由来の接頭辞で、① 反復（例：reedycja 再編集）、② 反動（例：reakcja 反応；反動）を表す。
- roz-** ① 動詞由来動詞として、a) 四方八方への運動（例：rozwieźć いろいろな場所に 運ぶ < wieźć 運ぶ）、b) 分解・分断（例：rozłączyć 切り離す < łączyć 繋げる）、c) 枯渇・消耗（例：rozkraść 根こそぎ盗む < kraść 盗む）、d) 解放（例：rozpętać 足かせをはずす < pętać 足かせをする）、e) 回帰・回復（例：rozplątać ほどく < plątać もつれさす）、f) 強化・拡充（例：rozbudować 増築する < budować 建てる）、g) 始動（例：rozżłościć 立腹させる〔開始〕 < żłościć 立腹させる）、② 名詞由来動詞・形容詞由来動詞として、基になる語の状態に（近く）なることを表す（例：rozgałęzić 分岐させる < gałąź 枝）。
- roze-** roz- と同義で、子音が連続して発音が難しい場合に現れる（例：rozegnać 追い払う < gnać 追う）。
- równo-** 「平らな」「一様な」の意（例：równoczesny 同時の、równouprawnienie 同権）。
- różno-** 「様々な」の意（例：różnobarwny 多彩な）。

- rudo-** 「赤褐色 (の), 赤毛 (の)」の意 (例: rudowłosy 赤毛の).
- s-** ① 不完了体から完了体を導く (例: skonsultować < konsultować 協議する), ② 前置詞・副詞の一部となる (例: sponad …の上から [この s- は意味的に前置詞 z を継承している]).
- samo-** 「自分 (の)」の意 (例: samozadowolenie 自己満足 < zadowolenie 満足). auto- を参照.
- siedemdziesięć-** 70 の意 (例: siedemdziesięciogodzinny 70 時間の).
- siedmio-** 7 の意 (例: siedmiogodzinny 7 時間の).
- siedemnasto-** 17 の意 (例: siedemnastogodzinny 17 時間の).
- słodko-** 「甘い」「優しい」の意 (例: słodkowodny 淡水の).
- spektro-** ラテン語由来の接頭辞で, スペクトラムの意 (例: spektrometria 分光計).
- staro-** 「古い」「昔の」の意 (例: starosłowiański 古代スラヴの).
- stereo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「立体 (の)」「実体 (の)」の意 (例: stereoskopia ステレオスコープ・立体鏡, strotyp ステレオタイプ・紋切型).
- sto-** 100 の意 (例: stokroć 100 回).
- stu-** 100 の意 (例: stuletni 100 歳の).
- sub-** ラテン語起源の接頭辞で, 「下位の」「従属した」などの意 (例: subkultura サブカルチャー).
- super-** ラテン語起源の接頭辞で, 「上位の」「超越した」などの意 (例: supergwiazda スーパースター).
- szaro-** 「灰色 (の)」の意 (例: szarozielony 灰色がかかった緑の).
- szeroko-** 「広い」の意 (例: szerokoekranowy ワイドスクリーンの).
- sześć-** 6 の意 (例: sześciobarwny 6 色の).
- szybko-** 「速い」の意 (例: szybkobieżny 高速の).
- ś-** s- と同義 [ć の前に置かれる] (例: ścierpieć < cierpieć 耐える).
- średnio-** 「平均 (の)」「中間 (の)」の意 (例: średniodystansowy 中距離の).
- środkowo-** 「中心 (の)」の意 (例: środkowopolski 中央ポーランドの).
- śród-** 「中心 (の)」「内部 (の)」の意 (例: śródładowy 内陸の).
- tele-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「遠距離 (の)」「通信・テレビ (の)」の意 (例: telefotografia 望遠写真術 < fotografia 写真術, telekonferencja テレビ会議 < konferencja 会議).
- termo-** ギリシャ語起源の接頭辞で, 「熱 (の)」の意 (例: termojądrowy 熱核反応の < jądrowy 核反応の).
- trans-** ラテン語起源の接頭辞で, 「…を越えて」「…を横切って」の意 (例: transatlantycki 大西洋横断の < atlantycki 大西洋の).
- trój-** 3 の意 (例: trójnog 三脚).
- trudno-** 「困難な」の意 (例: trudnozmywalny (汚れが) なかなか落ちない).
- trzech-** 3 の意 (例: trzechsetny 第300の).
- trzecio-** 「第3の」の意 (例: trzeciorzędny 3列目の).
- trzy-** 3 の意 (例: trzydniowy 3日の).
- trzydziesto-** 30 の意 (例: trzydziestodniowy 30日の).
- trzynasto-** 13 の意 (例: trzynastodniowy 13日の).
- tym-** 「この, その」の意 (例: tymczasem その間に).
- u-** 名詞由来動詞・形容詞由来動詞・動詞由来動詞を派生する (例: ukończyć 終える < koniec 終わり, uszczelnić 密閉する < szczelny 透き間のない, uciąć 切り落とす < ciąć 切る).
- ultra-** ラテン語起源の接頭辞で, 「…を越えて」「超…」の意 (例: ultradźwięk 超音波 < dźwięk 音).
- w-** 動詞由来動詞で, a) 「中へ」の意 (例: wbić 打ち込む < bić 打つ), b) 「上へ」の意 (例: wbiec 駆け上がる < bieć 走る), c) (全体への) 追加 (例: wliczyć 含める < liczyć 数える), d) 強意・強化 (例: wpatrzeć się 凝視する < patrzeć 見る).
- wąsko-** 「狭い」の意 (例: wąskotorowy 狭軌の).

**wczesno-** 「早い」の意 (例: *wczesnowiosenny* 早春の).

**we-** *w-* と同義で、子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: *wepchnąć* 押し込む < *pchnąć* 押す).

**wes-** / **wez-** *ws-* / *wz-* と同義で、子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: *wesprzeć* 支える < *przeć* 押す).

**wewnątrz-** 「…内の」の意 (例: *wewnątrzfabryczny* 工場内の).

**wez-** *wes-* を参照.

**wice-** ラテン語起源の接頭辞で、「次位 (の)」「代理 (の)」の意 (例: *wiceprzewodniczący* 副議長 < *przewodniczący* 議長).

**wideo-** ラテン語起源の接頭辞で、「ビデオ (の)」の意 (例: *wideoteka* ビデオライブラリー).

**wielko-** 「大きい」の意 (例: *wielkoduszny* 寛大な).

**wielo-** 「多い」の意 (例: *wielokrotnie* 幾度も).

**wodno-** 「水 (の)」の意 (例: *wodnopłatowiec* 水上飛行機).

**wodo-** 「水 (の)」の意 (例: *wodociąg* 水道).

**wolno-** 「自由な」の意 (例: *wolnomyślny* 自由思想の).

**wpół-** 「半分の」の意 (例: *wpółżywy* 半死半生の < *żywy* 生きている). *pół-* を参照.

**ws-** / **wz-** 動詞由来動詞で、強意・強調を表す (例: *wspomóc* 援助する < *pomóc* 助ける, *wzbogacić* 裕福にする < *bogacić* 豊かにする) [*ws-* は無声子音の前で, *wz-* は有声子音の前で].

**wschodnio-** 「東 (の)」の意 (例: *wschodnio-południowy* 東南の).

**współ-** 「共通 (の)」「共同 (の)」の意 (例: *współautor* 共著者).

**wszech-** 「全…」の意 (例: *wszechmocny* 全能の).

**wy-** 動詞由来動詞で、a) 内から外への運動 (例: *wychodzić* 出る < *chodzić* 歩く), b) 目標を達成したことを強調 (例: *wyprasować* アイロンをかけ終わる < *prasować* アイロンをかける), c) 強意・強調 [*się* と共に] (例: *wyspać się* 十分に眠る < *spać* 眠る).

**wysoko-** 「高い」の意 (例: *wysokogatunkowy* 上質の).

**wz-** *ws-* を参照.

**z-** *s*, *sz*, *ś*, *h* で始まる動詞に付加され、a) 完了体を導く (例: *zszyć* 縫う < *szyć*), b) 集合・合同の意 (例: *zbiec się* 集まる < *biec* 走る), c) 撤去・除去の意 (例: *zdrapać* かき取る < *drapać* ひっかく), d) 前置詞の一部となる (例: *znad* …の近くから).

**za-** ① 動詞由来動詞で、a) 成果・達成 (例: *zahamować* 止める < *hamować* 減速する), b) 一回限りの行為・運動 (例: *zabrznieć* 鳴る・響く < *brznieć*), c) 向こう側・後方への運動 (例: *zarzucić* 投げ捨てる < *rzucić* 投げる), d) 内部に置くこと (例: *zawalić* ふさぐ < *walić* たたく), e) 空間を埋めること (例: *zapisać* 書きつける < *pisać* 書く), ② 名詞由来動詞・形容詞由来動詞などを導く (例: *zabagnić* 沼のように変える < *bagno* 沼, *zabezpieczyć* 守る・防ぐ < *bezpieczny* 安全な), ③前置詞 *za* の意味を内包した、他の語となる (例: *zagraniczny* 外国の < *graniczny* 国境の).

**zachodnio-** 「西 (の)」の意 (例: *zachodnio-południowy* 西南の).

**ze-** *z-* と同義で、子音が連続して発音が難しい場合に現れる (例: *zeskoczyć* 跳び降りる, 飛び降りる < *skoczyć* 跳ぶ).

**zeszło-** 「過ぎ去った」の意 (例: *zeszłoroczny* 去年の).

**zielonawo-** 「薄緑 (の)」の意 (例: *zielonawożółty* 薄緑に近い黄色の).

**zielono-** 「緑 (の)」の意 (例: *zielonobiały* 緑がかった白の).

**złoto-** 「金 (色) (の)」の意 (例: *złotodajny* 金を生じる).

**zoo-** ギリシャ語起源の接頭辞で、動物の意 (例: *zootechnika* 畜産学 < *technika* 技術).

**żółto-** 「黄色 (の)」の意 (例: *żółtobrunatny* 黄色に近い褐色の).

おわりに

「はじめに」でも記したように、接辞を覚えておけば自動的に語彙が量産できるわけではない。たとえば、kupić (買う) からは, dokupić (買い足す), odkupić (買い戻す), okupić (あがなう), przekupić (買取する), skupić (買いつける), wykupić (買いつくす), zakupić (買い込む) などの語彙が派生するが、\*przeciwkupić や \*przedkupić という語彙は存在しない。ある基語からどのような語彙が実際に派生するかについての研究は、ポーランドではすでに現れている。日本人のポーランド語教育にその成果がどう活かせるかについては稿を改めて論じたい。

参考文献

Halina Jadacka, Częstki słowotwórcze [w:] *Nowy słownik poprawnej polszczyzny PWN*, red. Andrzej Markowski, Warszawa 1999.

木村彰一他編『ポーランド語辞典』(白水社, 1981年)

Ewa i Feliks Przyłubscy, *Język polski na co dzień*, Warszawa 1986.

Mirosław Skarżyński, *Mały słownik słowotwórczy języka polskiego dla cudzoziemców*, Kraków 1989.

*Słownik gniazd słowotwórczych współczesnego języka polskiego*, t. I-IV, Kraków 2001-2004.

*Słownik poprawnej polszczyzny PWN*, red. Witold Doroszewski i Halina Kurkowska, Warszawa 1980.

*Uniwersalny słownik języka polskiego*, red. Stanisław Dubisz, t. I-V, Warszawa 2003.

## Polish Prefixes

WATANABE Katsuyoshi

In this article author makes an analysis of Polish prefixes.

It is not easy for Japanese learning the Polish language to use properly prefixes. The author takes into consideration Polish teaching for Japanese students.